



年度
教育実習録 小学校 篇

所 属	和歌山大学教育学部	学 生 番 号
	氏 名	指導教諭名
教育実習校	小学校	

○地震を含む大規模災害等に備えた学外活動について

(R6. 8. 21 教育担当理事学生通知より抜粋)

< 南海トラフ地震に備えた留意事項 >

1. 災害等に備え、必ず避難場所を確認すること。
2. 政府、気象庁、自治体等の公的機関から発表された内容に従い行動すること。
3. 正課以外で学外活動をする場合、参加は強制せず、各個人に対して自主的な参加の意思を確認すること。
4. 本学が導入している安否確認システム「ANPIC」（アンピック）の「初期設定」を事前に登録しておくこと。

【チェックリスト】

- ☐ 実習先周辺の避難場所は確認しましたか？
- ☐ 本学で導入されている安否確認システム「ANPIC」（アンピック）の「初期設定」を登録しましたか？

教育実習生カード

年 月 日

氏 名			生年月日	年 月 日	
所 属	和歌山大学教育学部		学生番号：		
	専攻名：		指導教員名：		
現 住 所	〒 ー				
	携帯電話：		電話番号：		
実習中の 居 所	〒 ー				
	携帯電話：		電話番号：		
出 身 学 校 名	都道府県		小 学 校（		年3月卒業）
	都道府県		中 学 校（		年3月卒業）
	都道府県		高等学校（		年3月卒業）
	その他：				
クラブ活動	中 学 校：		高等学校：		大 学：
特 技			趣 味		
教職志望	（ ）は い （ ）いいえ（理由： ）				
実習にあたって 特 に 課 題 と し た い 点 （次ページを参照 して書きます）					
健康など実習に ついて特に配慮 して欲しい点					

教育実習をはじめるにあたって

○ これまでの学びを振り返ろう。

(教育実地研究Ⅰ)

- ・教員としてふさわしい身だしなみや言動について理解し、説明することができる。
- ・児童生徒の学習の状況について、観察してきたことを説明できる。
- ・観察した授業を記録し、授業の流れを説明できる。
- ・教師の視点に立って、観察した授業の板書や話し方の工夫について説明できる。
- ・自らが教職を希望する理由を説明できる。
- ・専門職としての教師になるために、主体的に学ぶことができる。

十分 できる	これから 頑張ろう
4	3 2 1
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(教育実地研究Ⅱ)

- ・観察で知り得た児童・生徒、学級、学校園等の情報について、守秘義務を果たすことの必要性を理解している。
- ・教職として、児童生徒の健康や安全に配慮し、人権を守ることの重要性について説明できる。
- ・児童生徒の学習の状況について、観察する視点を挙げるができる。
- ・授業実践を分析する際の視点について、説明することができる。
- ・児童生徒の実態から、観察した授業における教師の手だてについて説明することができる。
- ・児童生徒との関係づくりに意欲をもち、公平で受容的な態度で関わるができる。
- ・学校と保護者や地域の連携・協力の具体的な例を挙げ、その意義について説明することができる。

十分 できる	これから 頑張ろう
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○ 教育実習での目標を立てよう。→p.1「教育実習生カード」の「特に課題としたい点」へ

- ・教員としての自覚と自己目標をもち、実習に参加する準備ができています。
- ・学校の説明責任や法令遵守の内容を理解し、その重要性について説明することができます。
- ・児童生徒の心身や社会性の発達的特徴について、理論的に説明することができる。
- ・児童生徒の持っている知識、技能、関心・意欲や学習状況について、発達段階による違いを説明できる。
- ・学習指導要領を理解し、学習指導案を作成することができる。
- ・板書、話し方、表情等を工夫して、模擬授業を実施できる。
- ・児童生徒間のコミュニケーションをつくり出す方法について、説明することができる。
- ・学級経営の具体的な内容や方法について、説明できる。

十分 できる	これから 頑張ろう
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【教育実習事前指導を振り返って】

○ 基本的な授業スキル

	段階 1	段階 2	段階 3
基礎的・基本的な授業態度	学級全体に伝わる声の大きさ、話の速さで話すことができる。 自分の話し方の欠点を認知し、気をつけることができる。 <input type="checkbox"/>	教師の話し方や表情と子どもの反応との関連を考え、話し方を工夫したり、表情に気をつけることができる。 <input type="checkbox"/>	音声・表情・所作など話し方のレパートリーを増やし、場面に応じて使い分け、表情豊かに話しかけることができる。 <input type="checkbox"/>
説明	わかりやすい言葉で、端的に説明することができる。 <input type="checkbox"/>	子どもの理解の度合いを捉え、適切な比喩な例を取り入れて説明することができる。 <input type="checkbox"/>	子どもがつまづいている点を推測し、視覚的に示したり、子ども自身が解決のみちすじを考えることができるように説明できる。 <input type="checkbox"/>
発問／指示・コミュニケーション	自己の発問によって、子どもにどのような思考を促しているかを考え、適切な発問を考えることができる。 <input type="checkbox"/>	子どもが授業のねらいに到達できるように、主発問に加え、適宜補助発問をすることができる。 <input type="checkbox"/>	発問に対して、予想された児童生徒の思考活動とは違う反応を捉え、柔軟に授業展開を変更することができる。 <input type="checkbox"/>
	助言・指示が、学級全体や個に伝わったかを判断しようとする。 <input type="checkbox"/>	児童生徒の反応から、補足的な指示や助言を必要とする場面を捉えることができる。 <input type="checkbox"/>	個々の子どもの理解度を捉え、補足的な指示や助言を個別にすべきか、全体にすべきかを判断することができる。 <input type="checkbox"/>
板書／教材・教具の活用	文字の筆順や見やすさを考慮し、丁寧に板書することができる。 <input type="checkbox"/>	板書と子どもの思考活動との関係を考え、板書すべき内容と書かなくてもよい内容を選別できる。 <input type="checkbox"/>	児童生徒のようすを観察しながら板書し、板書が児童生徒の思考を促すように構成できる。 <input type="checkbox"/>
		目的に応じて適切な教材・教具を選択することができる。 <input type="checkbox"/>	学級全体や個の適性に応じて、適切な教材・教具の選択とその使用ができる。 <input type="checkbox"/>
個や集団への配慮	個への配慮を意識し、特徴的な個への対応を配慮事項(指導上の留意点)として具体的に取り入れることができる。 <input type="checkbox"/>	個の発言が全体に響いているかを捉えることができる。 <input type="checkbox"/>	想定しなかった個の行動・思考に対応するために立ち止まり、授業展開を柔軟に変更することができる。 <input type="checkbox"/>

○授業内容とその構成に関して(主として指導案作成の際に気をつけること)

	段階 1	段階 2	段階 3
授業のねらい	学習内容と児童生徒の実態をふまえ、適切な授業のねらいを設定できる。 <input type="checkbox"/>	授業のねらいを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の各観点から捉えて設定できる。 <input type="checkbox"/>	授業展開の実際を通して授業構成の妥当性を検証したり、児童生徒が自己評価の基準として用いることができるように目標を設定できる。 <input type="checkbox"/>
授業の流れ・展開	「めあて」と「まとめ」がつながった授業を構成できる。 <input type="checkbox"/>	授業をつらぬく主発問と補助発問を区別し、それらを系列化して構成している。 <input type="checkbox"/>	教育内容や教材の特質、児童生徒の実態に即して、主体的な探究活動を促すように、問いの表現や学習の展開を工夫している。 <input type="checkbox"/>
授業の方法・学習活動	学習の目標・内容に照らして、中心となる学習方法・学習活動を選択している。 <input type="checkbox"/>	学習の目標・内容との結びつきとともに、児童生徒の学習意欲の喚起を考慮して、中心となる学習方法・学習活動を選択している。 <input type="checkbox"/>	授業の目標・内容との結びつきとともに、学習者の多様な追究過程を考慮して、複線化した学習方法・学習活動を設計できる。 <input type="checkbox"/>
教材の選択	学習内容を反映し、学習者にとって具体性のある教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>	児童生徒が課題を把握したり、課題解決に活用できるように教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>	児童生徒に多様な見方や考え方が生まれ、多面的な学習活動へ展開できる教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>

時間割

	月	火	水	木	金	
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						

	月	火	水	木	金	
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						

	月	火	水	木	金	
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						

	月	火	水	木	金	
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						

座席表

教	卓
---	---

教	卓
---	---

日程表（Ⅰ）

月 日 曜日	学 校 行 事	実 習 予 定	そ の 他
			1
			2
			3
			4
			5
			6
			7
			8
			9
			10
			11
			12
			13
			14
			15

日程表（Ⅱ）

月 日 曜日	学 校 行 事	実 習 予 定	そ の 他
			16
			17
			18
			19
			20
			21
			22
			23
			24
			25
			26
			27
			28
			29
			30

週指導計画案（Ⅰ）

月 日 から 月 日 まで

曜 日	月	火	水	木	金	
行 事						
時 限						
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						
課 外						

※指導時数記入欄 教科・本週(累計) を記入				累計(下記の合計)・ ()		
国語・ ()	社会・ ()	算数・ ()	理科・ ()	生活・ ()	音楽・ ()	図工・ ()
家庭・ ()	体育・ ()	道徳・ ()	特活・ ()	行事・ ()	・ ()	・ ()

週指導計画案（Ⅱ）

月 日 から 月 日 まで

曜 日	月	火	水	木	金	
行 事						
時 限						
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						
課 外						

※指導時数記入欄 教科・本週(累計) を記入				累計(下記の合計)・ ()		
国語・ ()	社会・ ()	算数・ ()	理科・ ()	生活・ ()	音楽・ ()	図工・ ()
家庭・ ()	体育・ ()	道徳・ ()	特活・ ()	行事・ ()	・ ()	・ ()

週指導計画案（Ⅲ）

月 日 から 月 日 まで

曜 日	月	火	水	木	金	
行 事						
時 限						
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						
課 外						

※指導時数記入欄 教科・本週(累計) を記入				累計(下記の合計)・ ()		
国語・ ()	社会・ ()	算数・ ()	理科・ ()	生活・ ()	音楽・ ()	図工・ ()
家庭・ ()	体育・ ()	道徳・ ()	特活・ ()	行事・ ()	・ ()	・ ()

週指導計画案（Ⅳ）

月 日 から 月 日 まで

曜 日	月	火	水	木	金	
行 事						
時 限						
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						
課 外						

※指導時数記入欄 教科・本週(累計) を記入				累計(下記の合計)・ ()		
国語・ ()	社会・ ()	算数・ ()	理科・ ()	生活・ ()	音楽・ ()	図工・ ()
家庭・ ()	体育・ ()	道徳・ ()	特活・ ()	行事・ ()	・ ()	・ ()

週指導計画案（V）

月 日 から 月 日 まで

曜 日	月	火	水	木	金	
行 事						
時 限						
1 時限						
2 時限						
3 時限						
4 時限						
5 時限						
6 時限						
課 外						

※指導時数記入欄 教科・本週(累計) を記入				累計(下記の合計)・ ()		
国語・ ()	社会・ ()	算数・ ()	理科・ ()	生活・ ()	音楽・ ()	図工・ ()
家庭・ ()	体育・ ()	道德・ ()	特活・ ()	行事・ ()	・ ()	・ ()

児童観察記録（Ⅰ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅱ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅲ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅳ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅴ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅵ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅶ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅷ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（Ⅸ）

氏名 * イニシャル等	記 録

児童観察記録（X）

氏名 * イニシャル等	記 録

記録表 (I)

[illegible]

記録表 (Ⅱ)

[illegible]

授業観察の着眼点

<指導案について>

1. 目標はこの学年の児童の発達段階をどのように反映しているか。(心理的、身体的条件など)
2. 目標を達成するために、どのような学習過程が構成されているか。
3. 指導の中心はどこにあるか。
4. 前時の学習とどんな関係をもっているか。
5. 教材研究はよくなされているか。

<学習の場について>

1. どんな資料を集めているか。(教師、児童)
2. 児童の活動の組織をどのようにしているか。(グループ組織や机の配置など)

<指導過程について>

1. 導入の方法は、児童の発達段階や前時の学習とどのようなつながりをもっているか。
2. 児童はこの課題に興味と意欲をもっているか。
3. 児童は目標を明確につかんだか。
4. 学習活動にむだがないか。むだをなくすためにどのような工夫がされているか。
5. 用意した資料をどのように利用しているか。
6. 授業者の指示・発問は適切であったか。(全体に対して、個に対して)
7. 児童の経験をどのように生かし、自己を発表する機会をあたえているか。
8. 児童の個性や能力差を理解し、それに応じた考慮がはらわれているか。
9. 学習の中の新しい発展の契機はどのような点か。
10. 教師や児童はその学習の中でどんな評価の方法を用いているか。
11. 教師の指導の態度、ことばづかい、動作などで気のついたことはどのようなことか。
12. 板書の計画、方法は児童の学びにどのような影響があったか。

授業観察の記録（Ⅰ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅱ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅲ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅳ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅴ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅵ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

授業観察の記録（Ⅶ）

日 時	年 月 日 時限 : ~ :			授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元	
指導案について					
学習の場について					
指導過程について					

研究授業の記録（Ⅰ）

研究授業の記録（Ⅰ）					観察者氏名	年 組担当
日 時	年 月 日 時限 : ~ :				授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元		
授業者の 見 解						
観察者の 討議・意 見・感想						

研究授業の記録（Ⅱ）

研究授業の記録（Ⅱ）					観察者氏名	年 組担当
日 時	年 月 日 時限 : ~ :				授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元		
授業者の 見 解						
観察者の 討議・意 見・感想						

研究授業の記録（Ⅲ）

研究授業の記録（Ⅲ）					観察者氏名	年 組担当
日 時	年 月 日 時限 : ~ :				授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元		
授業者の 見 解						
観察者の 討議・意 見・感想						

研究授業の記録（Ⅳ）

研究授業の記録（Ⅳ）					観察者氏名	年 組担当
日 時	年 月 日 時限 : ~ :				授 業 者	
ク ラ ス	年 組	教 科		題材又は単元		
授業者の 見 解						
観察者の 討議・意 見・感想						

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

学 習 指 導 案

1. 年 月 日 限 学年 組 授業者

2. 単元・教材名 :

3. 本時の目標 :

4. 本時の展開 :

学 習 活 動	留 意 点	準 備 等

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

実習日誌

月 日 曜日			指導教員名	
時 限	実 習 項 目	概 要		
始 業 前				
朝 の 会				
1 時 限				
2 時 限				
3 時 限				
4 時 限				
昼 食 時				
5 時 限				
6 時 限				
終りの会				
放 課 後				
所感				
指導教員所感				

教育実習を終えるにあたって

○ 実習前の自分と比較しよう。

- ・ 教員としての自覚と自己目標をもち、実習に参加する準備ができている。
- ・ 学校の説明責任や法令遵守の内容を理解し、その重要性について説明することができる。
- ・ 児童生徒の心身や社会性の発達の特徴について、理論的に説明することができる。
- ・ 児童生徒の持っている知識、技能、関心・意欲や学習状況について、発達段階による違いを説明できる。
- ・ 学習指導要領を理解し、学習指導案を作成することができる。
- ・ 板書、話し方、表情等を工夫して、模擬授業を実施できる。
- ・ 児童生徒間のコミュニケーションをつくり出す方法について、説明することができる。
- ・ 学級経営の具体的な内容や方法について、説明できる。

十分
できる

4 3 2 1

これから
頑張ろう

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

○ 実習での学びを振り返ろう。

- ・ 実習期間中、高い意欲と課題意識を持ち続けることができた。
- ・ 実習生同士で課題を共有し、協働して実習することができた。
- ・ 指導の先生の指導やアドバイスに従い、周囲の理解や協力を得ながら実習を行うことができた。
- ・ 授業実践を通して、児童生徒のレディネスや学習状況を把握することができた。
- ・ 実習中に担当した児童生徒の発達の特徴について、発達理論を踏まえて具体的に説明できる。
- ・ 実習中に担当した児童生徒の生活実態の共通性と多様性を具体的に説明できる。
- ・ 児童生徒の実態に応じ、学習指導案を作成することができた。
- ・ 自分が実施した授業を省察するために、参観者の意見や児童生徒の記録など必要な資料や情報が収集できた。
- ・ 学校と保護者や地域との連携・協力について理解を深め、来校者に進んで挨拶したり関わろうとしたりできた。
- ・ 学級目標や学級経営案について理解を深め、学級経営に参加することができた。

十分
できる

4 3 2 1

これから
頑張ろう

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

【授業実践を振り返って】

○ 基本的な授業スキル

	段階 1	段階 2	段階 3
基礎的・基本的な授業態度	学級全体に伝わる声の大きさ、話の速さで話すことができる。 自分の話し方の欠点を認知し、気をつけることができる。 <input type="checkbox"/>	教師の話し方や表情と子どもの反応との関連を考え、話し方を工夫したり、表情に気をつけることができる。 <input type="checkbox"/>	音声・表情・所作など話し方のレパートリーを増やし、場面に応じて使い分け、表情豊かに話しかけることができる。 <input type="checkbox"/>
説明	わかりやすい言葉で、端的に説明することができる。 <input type="checkbox"/>	子どもの理解の度合いを捉え、適切な比喩な例を取り入れて説明することができる。 <input type="checkbox"/>	子どもがつまづいている点を推測し、視覚的に示したり、子ども自身が解決のみちすじを考えることができるように説明できる。 <input type="checkbox"/>
発問／指示・コミュニケーション	自己の発問によって、子どもにどのような思考を促しているかを考え、適切な発問を考えることができる。 <input type="checkbox"/>	子どもが授業のねらいに到達できるように、主発問に加え、適宜補助発問をすることができる。 <input type="checkbox"/>	発問に対して、予想された児童生徒の思考活動とは違う反応を捉え、柔軟に授業展開を変更することができる。 <input type="checkbox"/>
	助言・指示が、学級全体や個に伝わったかを判断しようとする。 <input type="checkbox"/>	児童生徒の反応から、補足的な指示や助言を必要とする場面を捉えることができる。 <input type="checkbox"/>	個々の子どもの理解度を捉え、補足的な指示や助言を個別にすべきか、全体にすべきかを判断することができる。 <input type="checkbox"/>
板書／教材・教具の活用	文字の筆順や見やすさを考慮し、丁寧に板書することができる。 <input type="checkbox"/>	板書と子どもの思考活動との関係を考え、板書すべき内容と書かなくてもよい内容を選別できる。 <input type="checkbox"/>	児童生徒のようすを観察しながら板書し、板書が児童生徒の思考を促すように構成できる。 <input type="checkbox"/>
		目的に応じて適切な教材・教具を選択することができる。 <input type="checkbox"/>	学級全体や個の適性に応じて、適切な教材・教具の選択とその使用ができる。 <input type="checkbox"/>
個や集団への配慮	個への配慮を意識し、特徴的な個への対応を配慮事項(指導上の留意点)として具体的に取り入れることができる。 <input type="checkbox"/>	個の発言が全体に響いているかを捉えることができる。 <input type="checkbox"/>	想定しなかった個の行動・思考に対応するために立ち止まり、授業展開を柔軟に変更することができる。 <input type="checkbox"/>

○ 授業内容とその構成に関して(主として指導案作成の際に気をつけること)

	段階 1	段階 2	段階 3
授業のねらい	学習内容と児童生徒の実態をふまえ、適切な授業のねらいを設定できる。 <input type="checkbox"/>	授業のねらいを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の各観点から捉えて設定できる。 <input type="checkbox"/>	授業展開の実際を通して授業構成の妥当性を検証したり、児童生徒が自己評価の基準として用いることができるように目標を設定できる。 <input type="checkbox"/>
授業の流れ・展開	「めあて」と「まとめ」がつながった授業を構成できる。 <input type="checkbox"/>	授業をつらぬく主発問と補助発問を区別し、それらを系列化して構成している。 <input type="checkbox"/>	教育内容や教材の特質、児童生徒の実態に即して、主体的な探究活動を促すように、問いの表現や学習の展開を工夫している。 <input type="checkbox"/>
授業の方法・学習活動	学習の目標・内容に照らして、中心となる学習方法・学習活動を選択している。 <input type="checkbox"/>	学習の目標・内容との結びつきとともに、児童生徒の学習意欲の喚起を考慮して、中心となる学習方法・学習活動を選択している。 <input type="checkbox"/>	授業の目標・内容との結びつきとともに、学習者の多様な追究過程を考慮して、複線化した学習方法・学習活動を設計できる。 <input type="checkbox"/>
教材の選択	学習内容を反映し、学習者にとって具体性のある教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>	児童生徒が課題を把握したり、課題解決に活用できるように教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>	児童生徒に多様な見方や考え方が生まれ、多面的な学習活動へ展開できる教材を選択し、構成している。 <input type="checkbox"/>

実習日誌追録及び所感

[illegible]

理由

早退 遅刻 欠席

届

私は右の理由のため、

月

日

早退 遅刻 欠席

いたしたく存じますのでお届けします。

年

月

日

第

学年

組

教育実習生

印

殿

教育実習出勤簿

学生番号		氏名		期間	年 月 日 () ~ 月 日 ()
------	--	----	--	----	---------------------

[illegible]